



みんなのでできる 地球温暖化防止活動

—どんな活動をすればよいか、相談したいのですが!!—

※マークは県の地球環境保全のキャラクターです

福島県地球温暖化防止活動推進センター

事務局長 鈴木和隆

(特定非営利活動法人うつくしまNPOネットワーク)

■センターに、推進員の来客がありました：

「こんにちは、うつくしま地球温暖化防止活動推進員の安藤ゆかりです。私は、福島市に住んでいます。環境問題に関心があり、もっと勉強したと考え、長年勤めた会社を昨年3月に早期退職しました。自宅の周りは、リンゴやナシの果樹畑です。理由はいろいろあるのでしようが、年々伐採され荒れ地になっていきます。散歩コースです。つらい気持ちになります。」

■推進員になったきっかけ

安藤さんは、働いている時は何もできなかったが、環境のために良いことをしようと、福島県立図書館に出かけ学ぶことから始めました。アメリカの副大統領を務めたこともあるアル・ゴアの『不都合な真実』を読み、地球温暖化問題の大切さを知ったといいます。そんな時、うつくしま地球温暖化防止活動推進員養成

研修会の開催案内チラシを見つけ、受講して推進員になりました。

■映画「マイクロプラスチックストーリー」

「環境問題には、以前から興味はありました。メガ台風のNHKドキュメンタリーを録画して何度も観ました。また、福島は盆地だからでしょうか、夏の暑さが年々厳しくなっていくように感じます。」学ぶことも大切だが、環境問題を伝えることも大事と考えていた時に、映画「マイクロプラスチックストーリー」の上映会が企画されていることを知り、福島上映実行委員会事務局に参加することにしたそうです。「事務局長が、たまたま同級生だったので。」

■みんなのでできる地球温暖化防止活動

安藤さんは、上映委員会事務局の仕事を始め、「中学の頃ですから、ずいぶん昔のことです。海の異変でサンゴが白化し死んでいるという新聞のコラム」を読んだことを思い出したといいます。「二酸化炭素を出すのを減らすこと、一方で森林をもっと豊かにして吸収を増やすこと。自然の中で生活していることを大切にしたいです。海も、森もですね。」センターからは安藤さんに、「学校や企業で行う環境出前講座の講師に、ぜひなつてくください」とお願いしました。

(Web) <http://fukushima-ondankaboushi.org/>